

公表	児童発達支援事業所における自己評価結果
----	---------------------

事業所名	えがお浪速区店		公表日				R8 年 4 月 1 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・遊ぶ内容によって使う場所を変えるよう工夫している ・決して広くはないが、場所を考えて利用している 			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導など1人1人に時間を使えている 			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・フロアに障害物等は置かず、走ったり遊んだりしやすい空間になっている ・絵カードや1日の流れがわかる用紙を貼り、子どもが見てわかりやすい環境になっている 			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日のフロアやトイレの清掃、玩具のアルコール消毒と徹底している。 			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・個室になるような環境を作る為、カーテンでの仕切りを設置予定(2月末) 			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時や、利用児童がいない時間を使って、職員全員が参加できる時間を確保している 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定と振り返りがもう少しわかりやすくなればと思う 		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・児童送迎時、保護者の方から頂いた意見等は共有し、朝礼時や利用児童がいない時間に、改善に向けての話し合いをしている 			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼や、午前中に利用児がいない際に、話し合いの機会を設ける(議事録が有る事が良い) ・モニタリング・ヒアリングの結果をしっかりと共有し改善に向けての話し合いが出来る 			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2		<ul style="list-style-type: none"> ・外部の第三者はない 		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・各職員が研修に参加し、技術の向上に繋げられるようにしている ・外部の研修が豊富にある 			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いや、すり合わせの機会を設けている。 			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの中で、今その子の課題は何かを考え、計画を作成している。 			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のプログラムを、話し合いの上決めていく ・朝礼や月初めのイベント決めの際に立案している 			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・前月、前々月のプログラムも確認しながら固定化しないよう案を出し合っている ・1週間ごとに集団運動の内容を変えている 			

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		・集団は難しいが、臨機応変に難易度を変更している ・個別に支援が行えるように、個別ファイルを作成し、チェック記入欄にチェックする。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・朝礼の議事録に残している	・毎日出来ているわけではない為、毎日しっかりと確認出来ればいいと思っている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・翌日の朝礼時に情報共有を行い、話し合っている ・イベント毎に行い、共有・改善出来ている	・記録をとるようにしているが、全てとは言えない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		・管理者や児童発達支援管理責任者等が参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		・お迎え時などに、今日の様子を聞くなど、保育所や学校と情報共有を行い、連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2	・事例検討会などに参加し、助言を受ける機会がある	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・祝日のイベントなどで、親子・保護者交流会などを行っている。 ・親子交流会で、普段事業所で行っている姿を見る機会を設けている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・保護者とモニタリングを行っている。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・モニタリングの際に話し合っている。		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・悩み事、相談事があれば、送迎時や別日に話し合いの機会を設けている。 ・送迎時、又は送迎時が難しい場合には連絡ツールを使い対応したり、面談したりしている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		・保護者会はない ・親子交流会で、父母・兄弟の参加を促し、たくさんの方と接点を持てるようにしている。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・連絡帳や活動記録など、イベント活動についてはインスタグラムにも掲載している。 ・イベントなどは、随時活動記録やインスタグラムにて発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・他児の顔や名前等、個人情報が分かるものは徹底して隠すようにしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		・イベントなどは利用児だけで行っている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・防災訓練などは定期的に行っている。 ・マニュアルの見直し、緊急時や防犯についてなど、事業所内研修で話し合いの場を設け、定期的に確認を行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	2	・実際に消防士の方に来てもらい、避難訓練や職員の役割分担を行い、非常時を想定している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・おやつ購入の際には、食物アレルギーを持っている子どもが該当する食品は買わない ・おやつ時にも必ずチェックしている	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハットがあった際には、すぐに共有し、用紙に記録している。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・虐待防止研修を行い、日頃から適切な対応をとるよう気を付けている。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2	・組織的には決定している		